

国際交流広場ワイワイガヤガヤ～「おもしろゼミ」～

特定非営利活動法人国際交流団体未来

 コース
初動事業

申込内容

■事業の概要

「おもしろゼミ」では、主にネパール・韓国・中国などアジアの文化や習慣を学ぶユニークで興味を引くセミナーを開催。豊中市に在留する外国人と日本人との気軽な出会いの場を創造し、国際理解の啓発活動を行う。

■目的

豊中市に在住する外国人と日本人を対象に、国際交流広場ワイワイガヤガヤと名づけた3つの事業活動を行い、その内「おもしろゼミ」を第一歩と位置づけ、豊中市の国際交流の促進に寄与していきます。

■交付決定額 95,000円
 (事業予算 190,000円)



◎活動の様子

平成27年(2015年)4月24日(金)、阪急蛍池駅近くにあるコミュニティカフェ「Cocokara(ココカラ)」で、「おもしろゼミ」が催されました。第一回めとなる今回は、「海外日本語教師とは何をする」がテーマ。主催団体の特定非営利活動法人国際交流団体未来の理事長である上田一彦さんが、ネパールや中国での日本語教師の経験を元に、海外で日本語が必要とされていることや日本語・日本文化を教える面白さについて話されました。



上田さんは旅行会社で国際交流業務を担当していたキャリアを活かし、第二の人生として、日本語教師の資格を取得。NGOのボランティアとしてネパールや中国で日本語教師を経験した後、自らNPOを立ち上げ、国際交流活動をしているとのこと。この日は、フェイスブックや友人からの誘いをきっかけに、昔から国際交流に興味がある人や、将来は海外で日本語を教えてみたいという夢を持つ人などが参加。「海外の日本語学習者の数は?」「どうして日本語を学習したのか?」

などの質問がとび交い、参加者の皆さんと活発な意見交換をしました。上田さんからは、言葉だけではなく、日本の文化や習慣も教えることが求められること、海外で日本語を教えることは、日本人として持つべき知識の習得につながることに、また一芸を持っていると海外で人間関係が作りやすいなどが聞かれました。残り時間20分となったところ、参加者みんなでお茶を飲みながらのワイワイガヤガヤ意見交換。最後に、日本語教師の応募方法の説明や今後のスケジュールの案内があり、今回のセミナーは終了しました。

「今回は遠方からも来ていただきましたが、今後は豊中市内の国際交流団体などと連携して、豊中の参加者も増やしていきたい」と今後の活動の意気込みを上田さんは話していました。

◎今後の予定(平成27年度)

- 10月 国際協力NGOを聞く
- 12月 韓国キムチを作る
- 2月 中国春節を祝う